

商工会会長挨拶 2018-2019

米国三井物産 小風 寧



本多前会長を引継ぎ、10月よりヒューストン日本商工会会長の務めることになりました米国三井物産の小風です。皆様どうぞ宜しくお願い致します。本多前会長のこれまでのご貢献に心より感謝申し上げます。今年はまだ3か月ほど残っていますが、日本では豪雨、台風、地震と稀にみる災害の多い年でした。会員の皆様のご家族、ご親戚、ご友人の中にも被災された方がいらっしやるかと思ひます。改めてお見舞い申し上げます。

2017年6月にヒューストン支店に着任する前、数回ヒューストンに出張したことは有りました。移動する場所はオフィス等限られていてその時は大きなステーキと灼熱の暑さ位しか印象がありませんでした。ところが今回駐在してみると緑が多いこと、住んでいる方々がと

ても親切で親しみやすいこと、劇場、美術館、スタジアムなど文化・スポーツ施設が充実していること等々印象がすっかりと変わりました。

昨今「自国主義」や「保護主義」という言葉を聞くことが多くなりました。これは私たちが教科書で学んできた世界と異なります。最近Factfulnessという本を読みましたが、人は物事をドラマチックに、時に悪い方に考える傾向があると説明しています。災害や世界を取り巻く不安は一部のことであり、冷静に事実を見れば未来は良い方向に進んでいるのだと思ひます。

日本では平成という時代が始まって30年、来年元号が変わり新たな時代が始まります。当商工会も昨年50周年を迎え、次の50年の始まりにいたるとも言えます。その規模は正団体会員企業117社、会員総数は797名(9月18日現在)と年々拡大してきております。総領事館や各他団体のご支援も得ながら会員の皆様並びにご家族が安全に安心して充実した生活を送ることが出来るよう、また加盟団体の皆様のご発展に少しでも貢献出来るよう尽力する所存ですのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

第29回 ヒューストン-ダラス 小中高生親善ソフトボール大会



商工会が支援する第29回ヒューストン-ダラス小中高生親善ソフトボール大会が9月2日にMcInish Park (Carrollton, TX)にて開催された。熱戦の様子は8、9ページ。

第561回 テキサス会開催

去る9月9日に商工会・日本人会共催第561回テキサス会「総領事杯」ゴルフトーナメントがTour 18 Golf Courseにて開催されました。今回は、8月に新しく赴任された福島総領事を迎え、総勢60名の方々が参加する大会となりました。前日夜までの天気予報ではサンダーstormとの予報でしたが、60名の祈りが通じたのか、当日朝は見事に晴れ、ゴルフ日和の中、全員が無事にホールアウトすることが出来ました(なんと表彰式の途中から雨が降るといふ結果でした!)

表彰式冒頭での福島総領事からのスピーチでは、「商工会設立51年の歴史に対して561回という開催回数に驚いた」「前任地バンコクと当地でのゴルフ事情の違いに途惑った」などと、ユーモアを交え語っていただきました。

さて、肝心のトーナメントですが、今回も前回同様、ダブルペリア方式で開催いたしました。結果はKaneka North America LLCの金谷健登さんがグロス88、ネット68.8で男性の部及び総合優勝の2冠を獲得され、また女性の部はAnnoura Realty Group LLCの案浦スーザンさんがグロス102、ネット72で優勝され、福島総領事から多くの賞品を授与されました。そして前大会に引き続

き、Tokio Marine Americaの大岩淳さんがグロス79でバスグロ賞を獲得されました。賞品を獲得された皆さま、おめでとうございました。

最後に、今回も会員企業、日本人会、日系レストラン、スーパーの皆さまから、たくさんのご寄付を頂き、大会を盛り上げていただきました。また参加者の皆さまのご協力の下、無事にトーナメントを開催することができました。この場をお借りし、皆さまに厚く御礼を申し上げます。次回、第562回テキサス会「商工会長杯」は2018年11月ごろに開催予定です。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

(文責 大会幹事: エネルギー部会)



女性の部優勝 案浦様



男性の部及び総合優勝 金谷様

目次	1... 新会長挨拶・テキサス会	4.5... 商工会新年度体制紹介	8.9... 親善ソフトボール大会	12... 知っとん・Houston Walker・編集後記
	2... 商工会理事委員会議事録	6... ビジネスセミナー	10... テキサス・メディカル最前線	
	3... 会社紹介・駐妻日記	7... 美術館紹介	11... ピーカンキッズ・アゲハ蝶	

会員限定

ヒューストン日本商工会 会社紹介

JAE Electronics Inc. 香春 健生さん



1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

JAE Electronics, Inc.は、日本航空電子工業㈱(英語名Japan Aviation Electronics Industry Ltd.: JAE)の北米地域での販売子会社として1977年に南カリフォルニアに設立されました。

JAEはその会社名からもご想像頂けるとと思いますが、航空宇宙関連の各種センサー/電子機器やその他電気部品を製造、販売致しております。

1990年頃から、航空宇宙関連で培った技術を応用し、油田掘削に使用される特殊なセンサーの開発販売を開始し、2000年にヒューストンに営業事務所を開設致しました。

JAEが製造しておりますセンサー/システムは、石油/ガスの掘削作業において、その掘削ドリルの進行方向をコントロールしながら掘り進め

ていく為に必要な各種データ(傾斜角度/方位/位置 等)を計測する為に欠かせない製品です。高精度、高信頼性、耐環境性が求められ、世界中の掘削サービス会社の油田掘削作業に広く使用されております。

その後、ビジネスの拡大に伴い、2015年にSugar Landに関連製品のメンテナンス/サポートを行う為の工場を設立し、本日に至っております。現在、25名前後の従業員でオペレーションを行っておりますが、今後工場/オフィスの拡張/増員も検討しております。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

今年の4月に前駐在先の英国Farnborough(ロンドン近郊)からヒューストンに現地責任者として着任致しました。実は、以前1994年から2007年までの間、南カリフォルニアに駐在しており、頻りにヒューストンに出張しておりました。その後、英国に10年間駐在として勤務しておりましたが、いざロンドンに住んでみると、あまり美味しくない食事、住宅事情の悪さ、物価の高さ等々、正直申し上げてあまり良い印象ではありませんでした。(この世の天国と言われる、南カリフォルニアから、毎日曇り空で太陽のない英国に移り住んだ事もその大きな理由ではありますが…)

今回、久しぶりの米国ヒューストンに戻り、改めて良きアメリカ(そしてテキサス)を満喫しております。良い天気、フレンドリーなテキサスの方々、広々とした土地や住居、大変便利な買い物事情、世界各国のグルメが楽しめるレストランなど、アメリカの素晴らしさを改めて認識している毎日です。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

今回、ヒューストンにはロンドンから妻と猫と一緒に引っ越して参りました。ロンドン生まれの猫にとって、さすがにヒューストンの暑い夏はショックだったようで、しばらく元気がなかったのですが、漸く体調がもどってきました。広いアメリカの家で寂しい思いをさせてはいけないと思い、こちらで子猫の里親となって、今では仲良く家の中を2匹で駆け回っています。

B級グルメの食べ歩きが大好きなので、週末は家内と一緒にヒューストンの安くて美味しいレストラン巡りを致しております。ゴルフ、キャンプ、ヨットなどやりたい事は色々あるのですが、まずは生活/仕事を早く落ち着かせたいと考えております。どこかで皆様にお会いできる事を楽しみに致しております。

駐妻のヒューストン日記

第169回 平野 真由美さん

2017年7月、夫の三度目の海外駐在でヒューストンに到着しました。

一度目の駐在は2002年南米ベネズエラでした。

仕事を辞めることを考えられなかった私は、長女を現地で出産し、産休・育児休暇を目一杯使い、帯同しました。その後、夫を現地に残し、一歳半になる長女を連れて日本に戻り、母子家庭状態で一年半を過ごしました。当時としては珍しかったのですが、パソコンでメッセージのビデオ機能や出始めたばかりのSkypeを使い、日本とベネズエラで夫と娘は顔を見ながら話していましたが、可愛い盛りの1歳半から3歳まで娘の育児に関われなかったことを夫はとてども残念に思っていたようでした。夫が日本に戻り一年くらい経った後に娘が、いきなり「そういえば、お父さんどうしてパソコンに入っていたの?」と聞いた時はびっくりしました。現在は、すでにその四歳の時の発言の記憶さえなくなっているのですが、その発言の時は、何かフラッシュバックのように、パソコンでの父親との会話が甦ったのでしょうか。

二度目の駐在は、ヒューストンでした。2008年、夫が住む家を決めて住み始めた直後ハリケーンアイクが襲来しました。たまたま東京出張中だった夫に被害はなかったものの、近隣の住宅は2週間の停電、ガソリンスタンドも長蛇の列で、大変だったようです。夫に後れること9ヶ月、2009年3月



に私は仕事を辞めて、長女(当時6歳)と次女(当時2歳)と共に到着しました。最近では、配偶者の海外駐在帯同の為の休暇があるようですが、当時は私の会社にはそのような制度はなく、もしかしたらの期待を込めて再雇用登録をしておきました。この時期、夫は長期出張が多く、この駐在期間の半分(私の体感です)は、不在だった気がしています。未就学児の次女を抱えて学校関係のことなどを一人で出来ないこともあり、周りの友人や知人に助けて頂く日々でした。南米出張から夫がヒューストンに戻り、やっとこれで周りの人たちに恩返しができると思った矢先、日本

に戻ることになりました。

今回三度目の駐在が再度ヒューストンとのことでかなり悩んだ末、きっと家族全員にとっていい経験になるだろうという思いで帯同を決めました。私は再度仕事を辞めて、長女は受験勉強の半ばで、次女は吹奏楽のコンクール前に、日本を後にしました。子供たちは5年間、日本生活に浸っていたのにもかかわらず、意外とスムーズに現地校に慣れてくれてほっとしました。次女は5th Gradeの授業についていくのは難しかったものの、会話に困ることはなく友達もすぐに出来て楽しい学校生活を始められたようです。買い物や業者への対応などで私が聞き取れない会話も理解して教えてくれる頼もしい存在になりました。子供たちは日本で週一回の、ゆる〜い英語保持を続けていました。それも「継続は力なり」ということで大事だったのですが、英語でのYouTubeの視聴をある程度許可していたので、その効果は大きかったようです。前回の赴任では力が入りすぎてゆっくり楽しめなかったのも、今回は楽しめたらいいなと思います。前赴任の時の知り合いの方にまた会えることができたり嬉しい驚きもありました。

新年度を迎えて新たな組織体制となりましたのでご紹介致します。(敬称略)

副会長
(担当:六者交流会)



丹羽 高興
(Mitsubishi Heavy Industries America, Inc.)

入社以来38年間名古屋で飛行機製造を担当してきましたが、今年4月より初の海外駐在としてヒューストンに赴任しました。色々とは慣れない点が多く皆様に御指導頂く場面が多いと思いますが、商工会活動を精一杯尽力したいと思いますので宜しくお願いします。

副会長
(担当:スポーツ委員長兼務)



生田 哲士
(Osaka Gas USA Corporation)

今回スポーツ委員長の大役を拝命し、身の引き締まる思いです。私個人・弊社ともに不慣れですが、安全で楽しいテキサス会・ソフトボール大会となるよう精一杯努力いたしますので、皆様のご参加とご支援をどうぞよろしくお願い致します。

副会長
(担当:ジャパンフェスティバル<副>)



本多 之仁
(Sumitomo Corporation of Americas)

今期ジャパンフェスティバル副担当を務めさせて頂くことになりました。今年25周年を祝い、地元テレビでも取り上げられる等、一大ビッグイベントに発展した本行事の更なる盛り上がりに向けて貢献してまいります。

副会長
(担当:ピクニック<副>)



羽場 広樹
(Mitsubishi Corporation (Americas))

3年前より赴任しておりましたが、4月に高杉の後任として支店長職を拝命致しました。成長し続ける米国市場、ヒューストン経済に本邦企業が順応し、安全に楽しく暮らせるよう商工会の役割は大きいと感じております。

幹事



木村 健洋
(Mizuho Bank, Ltd.)

2015年12月に前任より幹事職を引き継いで早丸3年になろうとしており、月日のたつ早さを改めて感じております。商工会の意思決定をスムーズに実施頂くべく、引続き微力ながら尽力の所存です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

会計幹事



峯山 裕二
(Deloitte & Touche LLP)

2015年8月より会計幹事を務めさせていただき、早3年が経過いたしました。力強く成長するヒューストンおよび商工会の活動に引き続き尽力したいと思っておりますので、皆さまのご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

特命理事(他団体対応・日本庭園)



名川 謙
(All Nippon Airways Co., Ltd.)

特命理事(安全危機管理)



平澤 暢人
(Marubeni America Corporation)

特命理事
(ジャパンフェスティバル<副>)



鈴木 一
(Kuraray America, Inc.)

特命理事
(ジャパンフェスティバル<主>)



蛭子 毅
(Goodman Global Group, Inc.)

広報委員長(ガルフストリーム)



松澤 進一
(Japan Oil, Gas and Metals National Corporation (JOGMEC))

企画・調査委員長(セミナー)



平井 利長
(Japan External Trade Organization)

文化委員長



石橋 拓朗
(Kaneka North America LLC)

教育委員長(補習校運営委員長)



増田 徹
(Mitsubishi International Corporation)

生活・情報委員長
(図書館/ピーカン活動/古本市等)



根本 真樹子
(Kintetsu International Express (U.S.A.), Inc.)

鉄鋼部会長



土肥 将昭
(JFE Steel America, Inc.)

物資・化学品部会長



吉田 亘
(VALQUA NGC, INC.)

機械・電子部会長



大槻 晃嗣
(Mitsubishi Heavy Industries Compressor International Corporation)

運輸・サービス・金融・貿易部会長



住吉 貴文
(ITOCHU International Inc.)

エネルギー部会長



岡本 峰春
(Iwatani Corporation of America)

ビジネスセミナー

「今後の日本経済とドル／円相場」

平成30(2018)年9月13日(木)9:00 am～10:30 amに、Houston Center内Conference CenterにてJPモルガン・チェース銀行東京支店市場調査本部長の佐々木融氏による講演会が行われましたので、概要を紹介します。

世界経済の成長率は2011年以降6年連続で2.6～3.2%のレンジ内に収まっていたが、2017、18年はレンジの上限をやや超える勢いとなっている。日本の2016～17年の実質GDP成長率は8四半期連続のプラス成長の後、2018年Q1にマイナス成長となったが、Q2に反発。今景気拡大期は2018年8月で69ヶ月目となり、73ヶ月続いた「いざなぎ景気」に次ぐ2番目の長さとなっている。一方、米国は法人税減税に加え、歳出上限引上げもあって、引き続き強い成長が予想される。今景気拡大期は2018年8月で110ヶ月目となり戦後2番目の長さで、19年6月で歴代1位となる。2018年前半の各国成長率を見てみると米国が牽引した。

金融政策は世界的に緩和的な状況が続いており、実質ベースで主要各国の政策金利はマイナス圏にある。そんな中、日銀は7月会合で2年振りに金融政策を微調整したが、当社は10年金利ターゲット引き上げの時期を2020年4月、引き上げ幅は15bp程度と予想している。一方、Fedは2018年中に残り2回、来年中に4回利上げを行うと予想、Fedの今回の利上げ継続期間は6月の利上げで31ヶ月目となるが、2018年11月に利上げを行うと歴代1位の長さとなる。注目すべきは、米国のイールドカーブが大きくフラット化している点だ。過去3回のリセッションの前に、イールドカーブはインバートした。10年-2年の金利差は既に20bp程度まで縮小しているが、あと一回利上げすると逆転する可能性もあり、その後リセッション入りするかが気になる。

米国の一人勝ちではなく、世界景気が全体として拡大する局面では、ドルも円も資本調達通貨(ファンディング通貨)として、弱含む傾向がある。良好な世界景気を背景に、市場がリスクオンとなるとき、米国や日本から資金が海外に出て行く傾

向があるからだ。反対に景気が悪化し、投資家心理が悪化すると、ドルや円を調達通貨とした投資ポジションが巻き戻されるため、ドルや円の買い戻しが起きる。

しかし、ドル安に加えて、①米国との通商問題に対する懸念、②安倍政権に対する懸念、③日銀の金融政策に対する懸念、④EM市場の不安定化は、一時的にせよ円高要因となり、USD/JPYの上値を押さえると予想している。2017年は主要通貨の中でドルが最弱、円は3番目に弱い通貨となった。この結果、2017年中のUSD/JPY相場のレンジは、107.32円～118.60円で、9.5%と非常に狭い。2018年も今の所狭いレンジで推移しており、年後半もUSD/JPYは狭いレンジ内での推移となると予想している。

因みに、Fedの利上げが必ずUSDの上昇に繋がるとは限らない点に注意したい。USDはFedの利上げ期待が高まる中で上昇し、実際に利上げが始まると、むしろ弱含む傾向がある。Fedが利上げできる環境はリスクオンで、前述のメカニズムに沿ってUSDはファンディング通貨として売られるからである。2014年7月以降にUSDが急上昇した局面では、①EM経済の成長が鈍化したことによる米国への資金回帰と、②米国だけが金融政策正常化に向かうとの期待が高まったことが主因であった。しかし、2017年以降は、①EM諸国の回復によるファンディング通貨としてのドル売り、また②その他主要国も金融政策正常化に向かう中で、③トランプ政権の保護主義に対する懸念を背景にUSD安は続いている。

貿易摩擦も円高要因となり得る。2017年の米国の貿易赤字(8,112億ドル)に占める対中赤字は3,757億ドルと全体の46%であるのに対して、対日赤字は626億ドルで対中赤字の5分の1程度であり、1990年代前半に対日赤字が米国の貿易赤字全体の半分を超えていた時代とは様相が異なる。但し、自動車に焦点を向けると、日本の対米黒字7.0兆円のうち4.5兆円が自動車の貿易黒字であることが目につく。9月末にNYで行われる可能性のある日米首脳会談で、トランプ大統領が2国間FTA交渉を迫り、安倍首相が受け入れる可能性も否定出来ない。

日米物価推移の差異も円高の可能性を示唆している。理論的には物価上昇は通貨価値の下落を、物価下落は通貨価値の上昇を意味する。日本と米国のインフレ率は、過去18年間で、米インフレ高の方向で48%も差がついた。それでもUSD/JPYは99年末比若干円安水準で、実質的に現状はかなりの円安と言える。日銀が算出す

る円の実質実効レートは、米財務省が指摘するように、過去20年の平均から25%割安であることも付記しておきたい。

米双子の赤字の拡大がUSD安圧力を更に高める可能性がある。財政赤字は2017年に対GDP比3.4%から、2019年には同5.4%に拡大し、経常赤字は同2.3%から4.1%に拡大する見通しである。過去5回の著しい財政赤字の拡大は、不景気を受けて生じたものであり、失業率は上昇中で、Fedは緩和とサイクルにあった。今回は対照的で、インフレ率の上昇加速と経常赤字の拡大を引き起こす可能性がある。

円の上昇を抑える要因としては日本企業による対外直接投資がある。本邦企業はアベノミクス開始後の2013年から対外直接投資を急増させており、2013年にネット対外直接投資は初めて10兆円を超え、2017年には16.8兆円と過去最高を記録した。2013年以降で合計77兆円の対外直接投資が行われたが、その約半分は円売りを伴っていてもおかしくない。直接投資先として多いのは米国で、2017年の投資額は5.8兆円と全体の3割を占める。

日本の経常黒字に占める貿易黒字の割合が減少していることも円の上昇を抑制する要因である。日本の貿易赤字はエネルギー価格の急騰とアジアからの輸入増が原因で2012～2014年にかけて急増した。2016年以降は、経常黒字は2年連続の20兆円台(GDP比約4%)に戻っているが、同様に20兆円台だった2006～2007年頃に比べると、貿易黒字が占める割合は小さくなっている。



講師略歴

佐々木 融氏:JPモルガン・チェース銀行東京支店市場調査本部長。2015年6月より現職。2003年4月にJPモルガン・チェース銀行に入行しチーフFXストラテジスト。2009年6月より債券為替調査部長。2010年5月よりマネジング・ディレクター。入行前は日本銀行に勤務。1992年に入行、調査統計局および札幌支店を経て、94年より97年まで国際局(当時)為替課に配属となり、市場調査・分析に加え為替市場介入を担当。2000年7月よりニューヨーク事務所に配属となり、NY連邦準備銀行等米国当局と情報交換を行いながら米国金融市場全般の情報収集・調査・分析を担当。1992年に上智大学外国語学部英語学科卒。



昨今、ビジネスや宇宙工学の街としてだけでなく、知る人ぞ知る美術の街としても徐々に注目を集めつつあるヒューストン。ガイドブックにはなかなか載っていないけれど、ぜひ訪れておくべき魅力的なヒューストンのアートのスポットの数々を、不定期連載でご紹介しています。

Volume 4では「番外編」としてヒューストンを離れ、テキサス州を代表する観光地として有名なフォートワースの美術館3館を取り上げます。充実したコレクションや見どころの多い企画展の内容もさることながら、いずれも世界的な名建築として名高く、空間自体を十分に楽しむことができ、なおかつ3館がほぼ隣接しているためエリア内を徒歩で巡ることができるというところもポイントです。芸術の秋、ぜひフォートワースまで足を伸ばしてみたいはいかがでしょうか。（文責：峯 恵子）

Modern Art Museum of Fort Worth

3200 Darnell Street, Fort Worth, Texas 76107
<https://www.themodern.org/>



日本人建築家として世界一知られているといっても過言ではない建築家・安藤忠雄の代表作のひとつとして知られる美術館で、安藤の代名詞とも言えるコンクリートやガラスを多用したスケールの大きい建築空間と、まるで水の上に建物が浮かんでいるようなランドスケープがとても印象的です。現在の姿は2002年の大規模改修後のものですが、そもそもの開館は1892年、テキサス州で最初の美術館として古い歴史を誇っています。



第2次世界大戦以降の近現代美術を集めたコレクションは大変充実しており、美術の教科書で見たことのあるようなアメリカ内外の有名作品がさりげなく展示されていることも。一方で日本やアジアの現代作家が企画展として取り上げられることも多く、この夏には現代美術家・村上隆の大規模な個展が開催されました。建築家や展示内容の関係から、ミュージアムショップには慣れ親しんだ日本の生活雑貨が優れたプロダクトデザインの一例としてたくさん並んでいるということもあり、建築、美術、デザインなどそれぞれの分野の日本人作家たちがここアメリカでどのように受け入れられているのかを垣間みることができる場所でもあります。

2棟ある建物の設計を手掛けたのはアメリカを代表する建築家の筆頭ともいえるルイス・カーンと、ヒューストンの名所メニル・コレクションの設計者でもあるイタリア人建築家のレンゾ・ピアノ。特に1972年完成のカーン・ビルディングはアメリカ建築の最高峰として高い評価を受けています。世界の美術館建築にも多大な影響を与えているため、大理石を使った温かみのある館内の雰囲気になんとなく懐かしい印象を受ける方もいるはず。

大きな公立美術館とは異なり、個人美術館のコレクションにはそれぞれ独特のセンスが光っていることがしばしばですが、このキンベル美術館も例外ではありません。マヤ文明時代の発掘資料からヨーロッパの宗教画まで多彩なコレクション作品を無料で楽しむことができます。（企画展は有料。）



また館内のレストラン The Buffetはオーガニック野菜中心のメニューが人気で、中庭に面した開放的な店内は常連さんにぎわっており、レシピの本「キンベル・クックブック」も出版されているほど。この美術館を訪れる楽しみのひとつとなっています。

Kimbell Art Museum

3333 Camp Bowie Boulevard, Fort Worth,
Texas 76107-2792
<https://www.kimbellart.org/>



Amon Carter Museum

3501 Camp Bowie Blvd. Fort Worth, TX 76107
<http://www.cartermuseum.org/>



新聞社、TV局、石油、航空会社などを所有したフォートワース経済界の名士エイモン・G・カーターの遺志を継ぎ、彼の美術品コレクションと資金をもとに1961年に設立された美術館です。アメリカ美術に絞った個人コレクションが常時すべて無料で公開されています。特に中西部の社会情勢や風俗などをモチーフにした写真や絵画などの展示が多く企画され、我々にとっては「異文化」としてのアメリカについて改めて学ぶ機会を得ることができます。

フィリップ・ジョンソンの設計による建築はシンプルでオーソドックスなものですが、貝の化石が一面に入ったテキサス産の珍しい石灰岩が建物全体に使用されており、大きなポイントとなっています。また敷地が3館の中でもっとも高台にあるため、エントランス前のテラスはフォートワースのダウンタウンを一望することができる気持ちのよいスペースです。



小中高生親善ソフトボール大会



女子Aチーム 総領事夫人杯

晴れ渡った秋空の下、2年の時を経てダラス、ヒューストン両軍が対峙した。1回表、チームを引っ張ってきたキャプテン慧莉香が内野安打で初出塁するも無得点に終わる。逆に立ち上がりを攻めるD軍。3点のビハインドから迎えた2回表、葉月がレフト前にクリーンヒットを放つ。沙羅がライト前ヒットで続き一、二塁とし、依琳が値千金ライト前ヒットで1点を返す。その裏、桜香が三塁封殺後矢のような送球、鉄壁の守備一塁の萌乃香がしっかりキャッチしダブルプレイ。見事0点に抑え攻防交替。3回裏にはD軍の猛攻にあい、5点を失うものの、最後は捕邪飛で後続を断つ。続く4回表、桜香がレフトオーバーのヒット。俊足を飛ばしHRに。すかさず葉月がヒットで続く。沙羅がライト前。隙を突き、走者三塁まで進塁。そして依琳が2打点目となる追加点を挙げ望みをつなぐ。5回表はキャサリンが相手のエラーを誘い一塁に出塁。2アウトの後、希が鋭い当たり。サード強襲安打で粘るも後続が倒れた。その裏、遊飛で2アウトとするも一、三塁のピンチ。だが慧莉香が冷静に続く打者を本試合二度目の三振に切って取った。このまま試合は動かさず残念ながら3-8と敗れはしたものの、ここの集中力を発揮。練習ではあまり見



られなかった併殺など随所に好プレイを連発し、4~6回はチーム一丸強固な守備で追加点を許さなかった。
直前の全体練習で右手親指を負傷する(後日亀裂骨折と判明)も強行出場し、諦めず力を振り絞った小晴。最後まで選手を鼓舞し、二度もの捕邪飛キャッチで貢献した捕手寿海音。皆、懸命に黄球を追った。高校3年生5人を擁するD軍に善戦し、見ごたえ十分の好試合であった。継続は力なり。心一つにまた練習を重ね、来年のメイトドラマに期待したい。また、本大会は異国の地で境遇を同じくする自軍および両軍間の選手同士の友情を深められる良い機会である。ぜひ今後とも生涯に渡り、良い関係を築いていってもらいたい。
(文責: 樽谷真治)



女子Bチーム 校長杯



去年はハリケーンの影響で大会が中止となったため2年ぶりの開催となった。女子Bチームは中学生中心で過去にダラス戦を経験している選手が多かったため、試合前の練習でビビリとした緊張感はなく、余裕すら感じられた。中3ケイラ、中2彩乃と萌乃香、中1ひかり、珠李、杏、佐紀、七海、りこ。そしてAチームから 高1葉月。
ピッチャーはケイラ。初めての大会にも臆さずナイスピッチングを披露。初回の攻撃では彩乃とひかりが ヒットで出塁。しかし、後が続かず無得点。逆に相手チームの強力打線により2点を献上してしまう。反撃の機を伺うが、チャンスをものに出来ずに2回と3回は無得点。ケイラの冴えたピッチングにより、2回は3三振を奪う。また3回は満塁のピンチとなるが、再び三振を奪い無得点で抑え、ケイラはガッツポーズ。Good Job! 4回の攻撃はサードのひかりから。セカンドゴロとなるが、まずい送球に助けられ一塁はセーフ。ショートの前野はレフト前ヒットを打ち、一塁二塁となり得点のチャンスを迎える。セカンドの珠李はゴロに倒れるも、その間に進塁。レフト佐紀の内野フライがヒットになり、選手が生還し初得点を記録。後は続かず1点止まりとなる。相手チームの攻撃となり、大試練到来! 相手の強力打線につかまり、外野へ強力な打球が連続して飛来。さらにチーム内の守備の乱れもあり一挙に8得点を奪われるが、ケイラが再び一矢を報いる三振を奪う。5回の攻撃で反撃開始といきたいところだったが、三者凡退となり、試合終了。
10-1で負けてしまったが、次に繋がる試合内容だった。試合が始まると、練習のように打てなくなる選手が多かったので、プレッシャーがかかる場面でも普段どおりに打つメンタリティーを培うことが課題である。中1の選手が多いので、来年以降のダラス戦での成長が大いに期待できるチームである。

(文責: 石井輝雄)

女子Cチーム Girls Cup

「明日、今日よりも好きになれる...」ダラスまでの車中で私の脳内ジュークボックスにGRReeceNの『キセキ』が何度も流れた。到着して早々の懇親会はその規模に圧倒された。これが噂のダラス戦か。コーチとして乗り込んできた以上、勝たせてやりたい。翌朝は上天気。ここで少しでも上手くなってくればと練習時間のノックのスピードも速くなっていた。正直今年のチームは遅咲きだった。4月になって集まったメンバーに経験者は少なく、楽しく放課後に玉遊びに来ている感じだった。夏になり新しいキャプテン愛納と副キャプテン風花が決まった。新米のリーダー二人が恥ずかしながら声を出し始めた時、やっとチームは動き始めた。守備位置が決まり、本番に向けた練習が始まると、ロー速だった彼女たちはトップギアに切り替えた。
試合本番、先攻のHチームは初回いきなり満塁のチャンスを迎えたが敢え無く3残塁。それでも、これはいける! と思った。ところがその裏Dチームが強打線でいきなり5点を奪う。緊張、焦燥感。2回表、連続ヒットで再度満塁のチャンスもまたもや0点。2回裏が終わり0-7と厳しい途中経過。ところが3回表の攻撃でチームが大きく変わった。三度目の正直となる満塁からの連続ヒットでついに2点を奪取。チームの応援の声も変わった。励まし、支え、つなげたい思い。まさにチームの声。5回表が終わり3-12と既に勝利の道は途絶えても、ボール一球をがむしゃらに追いかける選手の眼差しは生き生きとしていた。最後の攻撃のチャンス。私は小さな『奇跡』を見た。下位打線の連続ヒットから上位打線で3点を返し、そして最後は風花のヒットで5点目奪取。まさに猛攻だった。ここには我が誇るH女子Cチームのキラキラと輝く姿があった。そして試合終了。
結果は8-13の惜敗。もうイニングあれば追い付いたかも。試合後に涙する選手もいた。そりゃそうだ、あんなに頑張ったんだもの。真剣勝負とはこんなものだ。帰りの車中、彼女たちの今までの『軌跡』が頭の中をめぐる。私のジュークボックスは今も止まらない。
(文責: 小川浩二)



男子Aチーム 総領事杯



男子Aチームは厳しい練習を重ねてきた中高校生と、ハービーにより最後のダラス戦が文字通り水に流れた雪辱を果たすべく応援に加わったOB2名の精鋭12名で、校長杯からの連戦となるダラスAチームとの頂上決戦に臨んだ。「今日は何をしに来たんだ? 負けてないよ。勝てる!」と校長杯の勝利を受けて気分が高揚気味の監督の力強い言葉を胸に、いざプレイボール。

1回表、赤毛・村田・竹山と連打で満塁。1アウト後、南川のヒットで2点先制かと思ったが、ホームでのクロスプレーが微妙な判定でアウトとなり1点にとどまる。その裏、ダラス1〜3番の連打で2点を失うも、守備陣の好プレーで後続を抑え追加点を許さない。

2回は両チームとも好守備で無得点。3回表、向井・リービー共良い当たりだったが2アウト。しかしここから1〜8番と打線が爆発。打者一巡の猛攻で大量5得点、6-2と逆転に成功。4回表は村田・竹山の長打、5回表は南川・森・桑垣・塚本の連打と1点ずつ得点し点差を広げる。守ってはランナー挟殺など連係プレーでアウトを重ね、ダラスに得点を許さない。6回裏にはダラス中軸の連打で3点差に迫られたが、桑垣の安定したピッチングで猛追を断ち切り8-5とリード。

7回表、寺田・南川の強烈な当たりが相手守備陣のミスを誘いノーアウト1・2塁。ここで代打大堀が2塁強襲のヒットを打ち寺田がホームへ生還! 続く1アウト2・3塁でも、塚本の3塁線を破る会心の当たりで更に2点を追加。ダラスを突き放す見事な攻撃。7回裏ダラス最後の攻撃。連打で2点を失ったが、最後は、最強助っ人コンビ、ショート寺田の矢のような送球がファースト竹山のミットに収まり3アウト! 11-7で勝利し、総領事杯をヒューストンに持ち帰ることができた。

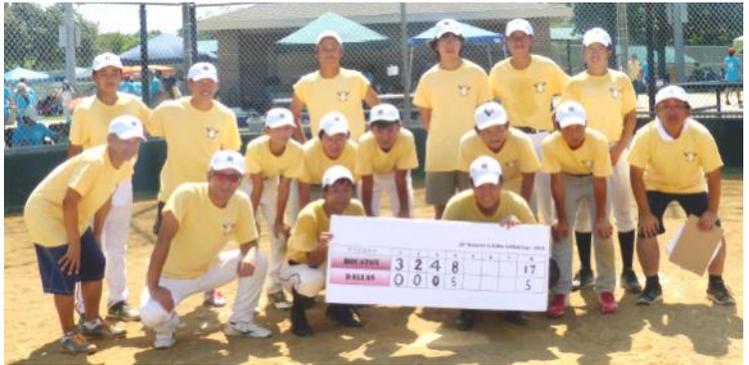
猛暑の中、連戦の疲れも見せず、選手同士で声を掛け合い、最後まで緊張感を保ちながら選手一丸となって掴んだ勝利だった。素晴らしい選手達に拍手喝采を送りたい。(文責:村田慎治郎)

男子Bチーム 校長杯

ダラスの暑い夏も終盤に入り、微かに爽やかな秋風が吹くなか、Bチームの試合が始まった。今年のメンバーは、高1が4名、中2が4名、中1が2名の10人ぎりぎり。1人も欠ける事ができない状況下、試合前の練習で声を出さず黙々とウォーミングアップの様子を見て、吉川兄弟(引越してやむを得ずチームを去った)の声を懐かしく思った。当日まで全員揃う日も少なかったこともあり、どのような特徴を持ったチームなのか把握できずこの日を迎えた。

ところがそんな心配は全くもって無用に終わり、試合開始前の円陣では大きな掛け声が響いた。初回、先頭打者の赤毛の安打出塁を皮切りに、村田&南川の連続安打、桑垣の犠牲フライで一気に3点先制で好調の出だし。2回&3回表も攻撃の手を緩めず、塚本のランニングホームラン、向井の安打で追加点を重ね、気が付くと10-0の二桁得点。2回裏のダラスの攻撃時、センター手前に落ちる難しいフライをセンター南川がスーパーキャッチ。大堀の安定した投球と全員の好守備が冴え、ダラスの得点を許さない。試合を決定付けたのは4回表の最後の攻撃。桑垣が安打で出塁すると続く塚本、向井と連続安打、リービーの三遊間ヒットで追加点、大堀の安打、山田がボールをうまく見極め出塁、森、南川のランニングホームランで更に追加点。17-0でダラスの最終回の攻撃を迎える。ここまで無失点に抑えてきた堅い守備がわずかに乱れた隙をつかれ5点を一気に返上されるが、最後の打者の打ち上げたボールを南川が落ち着いてグラブに納め、センターフライでゲームセット。終わってみれば文句のつけどころない素晴らしい試合であった。

10人の若き精鋭と監督、コーチ陣に感動をありがとうとお礼を言いたい。この調子で是非来年の勝利もヒューストンのホームで勝ち取って頂きたい。Let's go Houston! (文責:リービー千生)



男子Cチーム ヨッシャー杯

今年のCチームは6年生10名、5年生3名の構成。ハリケーンHarveyの影響で無念の中止となった去年のダラス戦を経て2年越しの決戦。天気にも恵まれて、晴天の下いよいよプレイボール!

1回表ヒューストンの攻撃、一番バッター大治がヒットで出塁するも、後続が凡退。初回から両チーム共に手堅い守備を見せて0点発進。ダラスは執拗にレフト線を狙って攻撃を仕掛けるが初回からサード俊、ショート寛太、ピッチャー晃が好守を見せ、2回裏まで0点に抑える。しかし3回裏ダラスの連続ヒットとレフトオーバーのランニング・ホームラン、エラーも重なり5点を先制される。逆転を試みるも、我がヒューストンチームはいつもの練習試合での快音が聞かれない。

一方ダラス側は攻撃の手を緩めず、常にランナーを出す苦しい展開が続くが、レフト一樹の好守などもあり4回、5回と0点に抑え、6回表を迎える。先頭バッターの一樹がショートのエラーで2塁進塁。次のバッター悠人が打ったボールをショートがエラーしてレフトへ、一樹が一塁にホームへ生還し1点を返すも、反撃もここまで。6回裏にダラスに1点を追加され、1時間ルールにより7回表を迎えることなく6



いでしまったか...。負けてしまったが、勝負はいつも紙一重。ゲームの流れと勢いをいかに自分たちに引き寄せられるかも、勝敗の分水嶺となる。今回の敗戦を良い経験として、来年ヒューストンで雪辱を晴らして欲しい。

Cチームの試合に続き、全員5年生で構成されたC-Jrも11対1でダラスに敗れるが、第一試合目の4年生以下のC-Cはヒューストンが8対3の勝利! また今年から初の試みである1-3年生によるC-C-Cは8対4でヒューストンの快勝。小学男子は2勝2敗でダラス戦の幕を閉じた。

この一年間炎天下の中、寒空の中一緒に走って汗を流した、「同じ釜の飯を食った」仲の選手たちに、心からのねぎらいとお礼を言いたい。感動をありがとう。(文責:宇都宮一史)





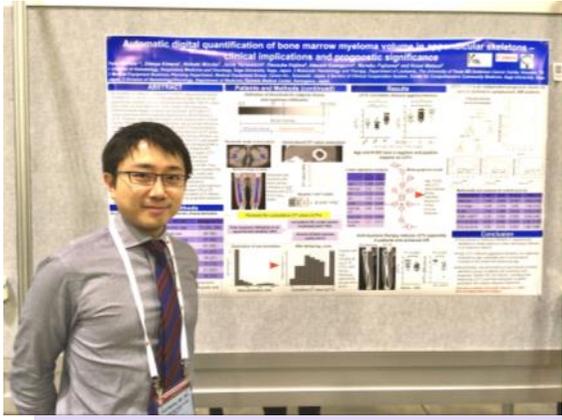
このページでは医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康と医療についてお話しして頂きます。

前回の岩瀬俊明先生から血液内科がご専門の西田有毅先生にバトンが移りました。

第168回

p53って、53ページ目のことですか

MDアンダーソンがんセンター 白血病科
分子血液治療学部門 西田 有毅(にしだゆうき)



教授:あ一来週の勉強会だけさ、p53について調べて発表してもらうからよろしく。

学生:ハイ、わかりました。えーとp53、p53と。。あの一教授、どの教科書の53ページ目ですか？

教授:……

ヒューストン在住の日本人のみなさま、こんにちは。MDアンダーソンがんセンターで研究をしております、西田と申します。出身は北九州市の八幡というところで、皿倉(サラクラ)山、帆柱(ホバシラ)山、というテレビ塔のある二つの山に見下ろされながら、浪人時代までを過ごしました。さて、この度は、「月刊ガルフストリーム」への執筆というご依頼をいただき、ハテ何を書こうかと考えめぐねておりました。私は日本では血液内科、という診療科を専門としております。消化器科や循環器科と比べると、一般のみなさまにはそこまで馴染みがないかもしれませんが、実はこのガルフストリームのバックナンバーにも、これまでに4-5名の血液内科の先生方がご寄稿されておられます。すでに血液の病気や血液内科に関わる医療的トピックが紹介されており、ネタの少ない自分としては、研究について書いてみようかな、と筆を取ってみることにしました。

さて、冒頭のツカミ、いかがだったでしょう。p53と聞いても、恐らく一般の方は、あまりご存知ないかもしれません。p53というのは、「ゲノムの守護者、guardian of genome」と言われているほどに、がんの世界では有名ながん抑制遺伝子(正確な遺伝子名はtumor protein p53, TP53)です。がん抑制遺伝子って何だろう、と思われた方、以下説明していきますのでご心配なく。このp53の名称の由来は、pはprotein = タンパク質、53というのは、タンパク質の大きさを示す分子量(53 kd = キロダルトン)から来ています(ですから名前の構造としては53ページと同じ [p = page, 53 = ページ数] であり、冒頭の学生はあながち間違っていた訳ではなく、考えるベクトルが違ったようです)。ゲノムというのは、すなわちDNAと言って外れないのですが、我々を含めた全ての生物がもつ、細胞の設計図の情報が乗っかっている

分子の集合体のことです。さて、このp53、大変にありがたく、優れた機能を持っています。細胞のDNAが傷を受けた時、すぐに来てくれる(あるいは部下=p53標的遺伝子と呼ばれる多数の遺伝子群を派遣して)、ついてしまった傷を無料で(車のボディとは違う)、綺麗に元どおりにします。逆に、「いやー、ちょっともうこの細胞のDNA、修復不能ですね」となったら、細胞の自殺スイッチをオンにして、放っておくとがん細胞になってしまう細胞を、淘汰する役割も持っています。つまり我々の体から、がん細胞が発生するのを防いでくれる総元締のような存在なのです。

それでは、このp53が機能しなくなるとどうなるか？ DNAというのは二本鎖構造をしていて、同じ場所に同じ遺伝子が、それぞれ一つずつ乗っています。マウスを使った実験で、p53を二つとも無くしてしまうと、非常に高率にがんを発症してしまうことが分かっています(ひとつ無くなっても、程度は少ないですが、やはりがんを発症します)。我々ヒトでは、このp53のひとつが機能しなくなる、リ・フラウメニ症候群という病気があり、生涯のうちに90%の確率でがんを発症してしまう家族性の疾患として知られています。さらに、ヒトの体で発生する各種のがん細胞を調べてみると、もっとも高頻度で機能を失っているのが、このp53なのです。つまり、ヒトを含めた動物の細胞において、p53が機能しなくなるのは「一大事」と言えるでしょう。

では、p53がたくさん機能すれば、がんは発症しないのか？ これ答えるために、ひとつ、ソルトレークシティにある研究所から発表された、とても興味深い研究を紹介します。ゾウ(elephant)はとても大きな体をしていて、動物の細胞というのは、卵(みなさんお馴染みの、あの黄身の部分)を除いて、種に関係なくだいたい同じくらいの大きさです。細胞ひとつひとつががん細胞になってしまう確率が同じと仮定すると、ゾウのような大きな動物は、がんの発生が多くなるのではないだろうか？ という仮説をもとに調査された研究です。実際に調べてみると、ゾウではがんの発症が極めて少なく、さらに、ヒトは1組二つしかp53を持っていないのに対して、ゾウはヒトの19倍も多くp53を持っていたのです。この知見から、ゾウにがんが少ないのは、p53がたくさんあるお陰ではないか、という考え方が現在支持されています。何だか良いことばかりのようですが、p53が働きすぎると、細胞の老化に繋がるとされており、実際、がんではない正常の細胞では、p53はあまり働きすぎないように、非常に微細な調節機構の中でコントロールされています。

以上に見てきたように、p53はがん化を防ぐ最重要人物であり、なぜがん抑制遺伝子と呼ばれるかがお分り頂けたでしょうか。先ほどチラッとだけ、「p53が細胞の自殺スイッチを押して、不要になった細胞を淘汰する」というお話をしました。実はこの特性を利用して新しい治療を開発する、というのが、私が所属する研究室の大きなテーマなのですが、残念なことに、誌面が残りわずかになってしまいました。この続きは、またどこかの機会、ということにさせて頂けたらと思います。

ここまで読んでくださった方、ありがとうございました。この原稿を書いているのは土曜日ですが、来週からまたコツコツと、アメリカ生活を満喫しながら精進の毎日です。

今回は同じく血液内科がご専門で、広島大学から来られている、美山貴彦先生です。とてもクールで優しい先生です。先生がヒューストンに到着されてすぐの頃に、お引越を手伝わせて頂いたご縁でつながりました。私とは別の研究室ですが、同じMDアンダーソンでご勤務されていらっしゃいます。

11/4(日) ■ 第562回テキサス会ゴルフコンペ「商工会長杯」(共催:ヒューストン日本商工会・日本人会)

第562回テキサス会「商工会長杯」を下記日程にて開催致しますので、皆様奮ってご参加頂けますようお願い申し上げます。参加資格は商工会、日本人会会員に限らず、日本人コミュニティー関係者の方はどなたでもご参加頂けますので、ご家族、ご友人、知人、出張者等ゴルフをなさる方の幅広いご参加をお待ちしております。尚、皆様からのご寄付、賞品のご提供も宜しくお願い申し上げます。

開催日時: 2018年11月4日(日)午前8時00分頃スタート予定<小雨決行>

開催場所: Wind Rose Golf Club (6235 PineLakes Blvd., Spring, TX 77379)

お申込み方法: 商工会ホームページ(www.jbahouton.org)のお申し込みリンクにアクセスしてお申し込みください。

お問い合わせ先: Metal One America Inc. 武田(E-mail: shunya.takeda@mtlo.com)



「アゲハ蝶を育ててみませんか」



Monarch butterfly

皆様、アメリカでアゲハ蝶を見たことは、おありでしょうか。英語では Monarch Butterfly (学名 *Danaus plexippus plexippus*)といます。昆虫としては珍しく季節に応じて住むところを変える「渡り鳥」ならぬ「渡り虫」であります。ロッキー山脈を境に、その西側では、冬は California の海岸地域で越冬し、東側では、ここテキサスを通り、中央メキシコで越冬するらしいです。ただ鳥と違いまして寿命が短いので、一つの個体が、この渡りのサイクルを完結することはないそうです。つまり、何世代かにわたって、北米を縦断するというらしいです。

私は数年前から、自宅の庭で、このアゲハ蝶を育てています。と言いましても、虫の面倒を見る必要は無く、このアゲハが卵を産み付ける Milkweed という草を植えて、渡りの季節に、ちゃんと産卵できる状態にしてあげるわけです。



幼虫と蛹



Milkweed

この記事を書いている9月19日現在、我が家の軒下には、約10個の蛹 (Chrysalis)がぶら下がっていて、今朝2匹が羽化しました。写真はそのうちの1匹です。Milkweed はあちこちの植木屋 (nursery) で買えますが、Katy 近郊では Enchanted Gardens をお勧めします。6420 FM 359, Richmond TX 77406 (281) 341-1206

アゲハが産卵しますと、一度にたくさんの幼虫が発生し、Milkweed がたくさんないと、皆、餓死する可能性があります。そうならないように、たくさん植えましょう。またこの植物は花が咲いた後、タンポポのように種が綿毛に乗って拡散しますので、庭中に Milkweed が繁殖してしまいます。これを防ぐために、私は種がはじける前に収穫して、春先に植えるために保存します。庭が無くてプランターを使えば、ベランダなどに植えることも可能です。また家の西側と南側は、暑くなりますので、避けた方がいいです。

皆さまも是非お試し下さい。

(文責:ガルフストリーム編集委員 米元錦城 (Computerdojo, Inc.))

ピーカンキッズ 活動報告

読み聞かせの会

厳しい暑さも一段落し、少しずつ秋らしい爽やかな風が吹くようになり、様々なことに挑戦しやすい季節になってきました。「読書の秋」「食欲の秋」という風によく表現されますが、今回は「秋」の空気が感じられるような、この季節に最適な絵本を以下に紹介させていただきます。

「おつきさまこんばんは」林明子作

夜空に浮かぶおつきさまをまるで生き物かのように見つめ、おつきさまに今日もごあいさつ「こんばんは」、雲に隠れたり、また現れてニコッとしてみたり。まるでおつきさまとお話しているかのように描かれたかわいらしい作品です。是非、裏表紙も見てみてください!

「おにぎりくんがね・・・」とよたかずひこ作・絵

「にぎにぎ」「にぎにぎ」と三人のおにぎり君たちが登場します。おにぎりは人の手によって作られるものなのに、なんとこの絵本の中ではおにぎり自身が自分でにぎにぎしながらおにぎりを作るという、何ともユニークなお話です。うめ、シャケ、おかか。さて皆さんはどのおにぎりを食べたいですか?

「いただきますあす」わたなべしげお文・おおともやすお絵

「くまくんの絵本」シリーズの一部で、くまくんが美味しくご飯を食べています。スープ、パン、スパゲッティ。でもフォークとスプーンを上手に使うことができません。くまくんは悪戦苦闘しながらも、それでも頑張って自分の力で食べようと必死になる様子をユーモラスたっぷり描いた心温まる作品です。



「きょうのおべんどうなんだろな」きしだえりこ作・やまわきゆりこ絵

男の子とぞうさん、くまさん、うさぎさん、こぶたさん、りすさんの森の仲間たちが集まりみんなで遊んでいます。さあ待ちに待ったお弁当の時間です。皆それぞれが体の大きさに合ったそれぞれのお弁当を食べます。気持ちの良い季節にみんなと一緒に外で食べると美味しいですよ。ピクニックに行きたい気持ちになるそんな一冊です。最後のページに「きょうのみんなのおべんどう」が載っています。誰のお弁当か親子で当ててみてください!

「おやすみなさい おつきさま」マーガレット ワイズ プラン作・クレメント ハード絵・せたていじ訳

主人公のうさぎさんを取り巻く環境の全てのもので、うさぎさんが「おやすみ」と語りかけています。原作が外国の絵本らしく絵の色彩がとても鮮やかな作品です。ほっこりとした心温まるおやすみ前の読み聞かせにぴったりの一冊です。

「えんそくバス」中川ひろたか文・村上康成絵

遠足の前日は興奮して眠れない、なんてことがありますよね。今日はみんなが待ちに待った遠足の日です。おやつとお弁当を持って「えんそくバス」が出発します。ところが一緒にいるはずの園長先生がいません。寝坊して遅刻してし

まったようです。当然お弁当も持っていません。お友達みんなはどうしたのでしょうか。公園に着くまでの道中のバスの様子を描いたところは、お子さんと一緒に体を使って読んでみてください。楽しい一冊です。

「14ひきのあきまつり」いわむらかずお作・絵

「14ひきの～」シリーズの秋を描いた一冊で、一ページずつめくると秋の空気が漂ってくるような優しい色彩で描かれています。赤や黄色に色づいた森の中で、おばあちゃんと兄弟姉妹たちがかくれんぼをしながらキノコや木の実を収穫します。絵本の中では秋の味覚がたくさん登場します。一つずつ探してみてください。

絵本には気持ちがほっこりしたり、癒されたり、どきどきわくわくしたり、心を豊かにしてくれる力があると思います。是非「大切な一冊」を親子で見つけてみてください。今回ご紹介させていただいた本は全て三水会センター図書館に揃っています。また読み聞かせの会にも是非お越しください。お待ちしております。

ピーカンキッズ今後の開催予定

- <あそぼーかい>
- 11月9日(金) 10時30分～
- 11月10日(土) 9時30分～
- 12月6日(木) 10時30分～
- 12月8日(土) 9時30分～

<読み聞かせの会>

11月2日(金) 10時30分～三歳以下のお子様向け

*変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターやコミュニティーサイト: houstonnavi.us >でもご確認ください。

*スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡ください。お待ちしております。

あそぼーかい mama.asobokai@gmail.com
読み聞かせの会 houstonyomikikase@yahoo.co.jp

By
Kumiko

繊細な彼女 - vol.126 SINCE 2007



Houston Walker



■Oct.20-21 **Wings Over Houston Airshow @ Ellington Airport** (11210 Blume Ave. Houston, TX 77034)
34回目となるヒューストンエアショーが今年も開催！USネイビーブルーエンジェルスを筆頭に多くのパフォーマーが迫力満点のエアショーを2日間繰り広げる。
チケット: \$30~
<https://wingsoverhouston.com/home/>

■Oct.27 **Fanatical Change Presents Carnival Freak Show @ BBVA Compass Stadium** (2200 Texas Ave. Houston, TX77003)
非営利団体によるヒューストン最大のチャリティーハロウィンパーティー。夜7時から深夜2時までライブ音楽やDJ、フォトブース、カクテル、ユニーク商品のオークションなどで賑わう。チケット販売・イベント収益は100%ヒューストン地区の児童養護施設で暮らす子どもたちへのサンクスギビングディナー費用にあてられる。チケット: \$20~\$500
<https://www.eventbrite.com/e/fanatical-change-presents-carnival-freak-show-houstons-largest-halloween-party-tickets-35725368539#>

■Oct.28 **Annual Halloween Boo Bash for Kidz @Traders Village** (7979 North Eldridge Roadnear Highway 290)
今年で18回目の開催となる子供のためのノースウエストヒューストン最大のハロウィンイベント！マーケットでは12歳以下の子供はハロウィンギフトがもらえ、参加店全てでトリックオアトリートが楽しめる。会場ではライブミュージック・手品・キャラクターコスチューム等も楽しめる。家族皆でハロウィンコスチュームで楽しめるイベント。
参加料: 無料 (パーキング \$4)
<https://tradersvillage.com/houston/events/boobash/>

■Nov.3 **Zombie Charge Houston @ Rio Bravo MX** (11610 N Lake Houston Pkwy Houston, TX 77044)
今年も単なるマラソンではないユニークなイベント「ゾンビラン」が開催。参加ランナーは3本の生命線のフラッグをゾンビから奪われずに無事ゴール出来るか!? 5Kのコース内にはゾンビだけでなくトレイルや泥・沼地等、様々な障害物や仕掛けがあり、スリル満点。ランナーでなくゾンビ役としても参加可能で、人間・ゾンビどちらで参加するかはあなた次第！
参加料: \$65 (ランナー) / \$30(ゾンビ役)
<http://www.zombiecharge.com/>

■Nov.3 **Ed Sheeran: 2018 North American Stadium Tour @ Minute Maid Park** (501 Crawford St. Houston, TX 77002)
第60回グラミー賞作品『Shape of You』でお馴染みの人気イギリスシンガーソングライター エドシーランの北米ツアーがヒューストンでも開催。
チケット: \$39~
<http://www.edsheeran.com/tour>

■Nov.8-11 **International Quilt Festival/Houston @George R. Brown Convention Center** (1001 Avenida de las Americas Houston, TX 77010)
アメリカ最大のキルトフェスティバルが今年もヒューストンで開催。毎年35か国以上から55,000人が参加するフェスティバルで、約1,000のキルト、ファブリック等の販売ブースや、多くの体験レッスンも催される。また1,600程のユニークなキルトの展示もありキルト好きには見逃せないイベント。
チケット: \$15 (10歳以下の子供は無料)
<http://quilts.com/quilt-festival-houston.html>

編集後記

百日紅の花も終わりを迎えて、雨の降り方も真夏とは様子が違ってきました。まだまだ暑い日が続いていますが、朝晩の気温や湿度が少し過ごしやすくなった気がします。日本では西日本での台風21号による被害や、北海道の地震による被害などの自然災害が続きました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り致します。

ヒューストンにおきましても、昨年はハリケーン・ハービーにより、多くの方々が無事な生活を余儀なくされたことと思います。幸いにも、今年は本原稿の執筆時までハリケーンに襲われておらず、このままシーズンを終えないものかと期待しています。しかしながら、自然災害は突然に訪れるものです。防災セットを準備するなど、この時期に改めて身の回りを確認されては如何でしょうか。

先月号のガルフストリーム誌で紹介のあった移転先の図書館には、皆様足を運ばれましたか。私はこれまでの図書館を存じませんが、清潔な館内に図書が整然と並んでおり、椅子も多く配置されています。商工会のHPにある検索システムで最近の人気の本を調べると、サバイバルシリーズが大人気の様です。私も日本で子供たちが買った同シリーズを読んでいましたが、主人公が友達と力を合わせて困難に立ち向かっていく様子を通じながら、様々な知識を得ることが出来る、面白い本だと思います。大人の皆様も図書館に足を運んで、流行りの本などをチェックされる事をお勧め致します。(松澤進一)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行: ヒューストン日本商工会
発行責任者: 小風 寧
編集委員長: 松澤 進一
構成・編集: 五十木希実/峯恵子/吉野孝子
印刷: Sel-Fast Printing Copies & Laminating (713) 782-2000